アフターサービスについて

保障期間

・お買上げの日より６ヶ月間です。

修理を依頼されるとき

・サービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき再度ご点検の上、なお異常がある場合には、お買上げの販売店にご依頼ください。

・部品のお求め、または故障その他、お困りのときはお買上げの販売店、または下記へのお問い合わせください。

株式会社　カ　ク　タ　ス

本　　社	東京都文京区千石４－３７－４ 千石コートハウス1F	電　話(03)5940-3671 ＦＡＸ(03)5940-3679	〒112-0011
川越技術センター	埼玉県川越市的場新町２１－２ 日油技研工業㈱川越工場内	電　話(049)237-5366 ＦＡＸ(049)237-5367	〒350-1107
札幌営業所	北海道札幌市豊平区月寒東二条11丁目5番20号	電　話(011)826-3151 ＦＡＸ(011)826-3155	〒062-0052
仙台営業所	宮城県仙台市宮城野区小田原2-2-36	電　話(022)353-5820 ＦＡＸ(022)353-5821	〒983-0803
東京営業所	東京都文京区千石４－３７－４ 千石コートハウス1F	電　話(03)5940-3671 ＦＡＸ(03)5940-3679	〒112-0011
名古屋営業所	愛知県名古屋市中村区上石川町3丁目3番地1	電　話(052)462-1166 ＦＡＸ(052)462-1176	〒453-0835
大阪営業所	大阪府大阪市西区立売堀1丁目2番12号 本町平成ビル101	電　話(06)6541-1266 ＦＡＸ(06)6541-6795	〒550-0012
福岡営業所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-11-11	電　話(092)473-8366 ＦＡＸ(092)473-8367	〒812-0016

カクタスアンカーテスター

SK-8T型(油圧式)

取扱説明書

株式会社　カ　ク　タ　ス

ごあいさつ

このたびは、カクタスアンカーテスター（SK－８T型）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書は、アンカーテスターの取扱いについて、記載した説明書です。
本書には、作業方法、注意事項、その他について、記載されておりますので本機をご使用の前には、必ずこの取扱説明書をお読みになり、取扱い内容を正しく理解の上、本機をご使用ください。
取扱い上にてご不明な点、あるいは本機に関してのご質問は弊社までご連絡ください。
「取扱説明書」は、本機をご使用になる方が、いつまでもご利用できるところに保管してください。
なお、「取扱説明書」を紛失した場合は弊社までご連絡ください。

目　　次

■安全上のご注意 …… 1
■⚠ 警告 …… 1
■⚠ 注意 …… 2
■ SK－８T型（油圧式）
〃 各部の仕様 …… 3
〃 組立手順 …… 5
〃 使用方法 …… 6
〃 注意事項 …… 7
〃 油の交換・補充 …… 7
〃 油の取扱い（専用オイル）…… 8
■検定検査 …… 8

安全上のご注意

- 使用前に本書をすべてお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- 危険に対する図記号は、警告と注意と危険度に応じて使い分けています。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または、重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警　　告

- **指定用途以外には使わない！**
  本書に指定された用途以外には、お使いにならないでください。
  傷害、ケガをまねくおそれがあります。
- **正しい取扱いで安全作業！**
  本書に従い正しい取扱いで安全に作業してください。
  傷害、ケガをまねくおそれがあります。
- **無断で改造しない！**
  無断で改造しないでください。本機の各部品はそれぞれ大事な役目を果たせるよう、その強度、機構など十分配慮して製作してありますので、無断で改造しないでください。
  本機が破損し、事故、傷害、ケガをまねくおそれがあります。
- **作業のときは人を近づけない！**
  測定作業の際は、顔や手をセンターホールシリンダーやテンション受台に近づけないようにしてください。またのぞき込みはしないでください。
  コンクリートやアンカーボルトが破断して、傷害やケガをまねくおそれがあります。

• 異常が起きたら直ちに作業を中止！

測定作業の際、本機の調子が悪かったり、異常に気が付いた場合には、直ちに作業を止め、お求めの販売店または㈱カクタスへ点検、修理に出してください。
本機が破損し、事故、傷害、ケガをまねくおそれがあります。

• 高圧ホースは手荒に取扱わない！

高圧ホースを持って油圧ポンプやセンターホールシリンダーを運んだり、傷をつけたり、極端に折り曲げないでください。損傷すると油が高圧力で吹き出し、事故、傷害、ケガをまねくおそれがあります。

⚠ 警　告

• 正しい服装で！

作業に適さないネクタイ、そで口が開いたものなどは身につけないでください。また、安全のため保護手袋、保護帽、安全靴を着用してください。高所など作業場により安全帯を着用してください。事故、傷害、ケガをまねくおそれがあります。

• 製品は大切に扱って！

本機を落としたり、ぶつけたりしますと、外枠などが変形したり亀裂が生じるなどの損傷をきたし、故障する場合がありますので十分注意してください。

• 無理な作業は事故のもと！

本機の能力をこえた過酷な測定作業はしないでください。故障、損傷、傷害、ケガをまねくおそれがあります。

• 高所作業の際は下に注意！

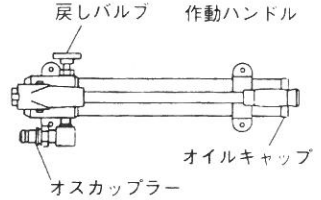
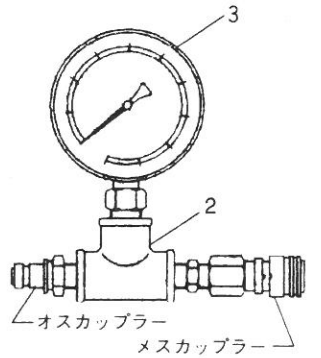
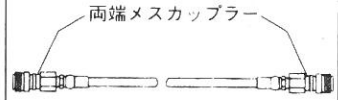
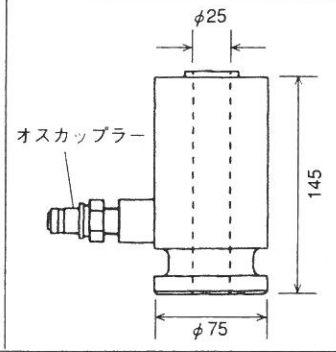
高所作業中のときは下に人がいないかよく確かめてください。
本機を落としたとき、事故、ケガをまねくおそれがあります。

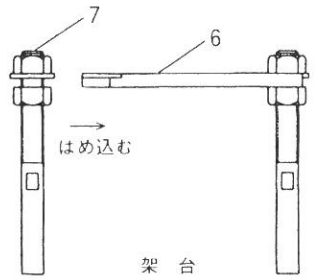
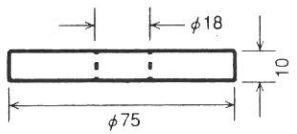
• 保守、点検を！

常に安全に能率よくご使用いただくため保守、点検をしてください。
本機の故障、損傷、事故、ケガをまねくおそれがあります。

SK－8T型（油圧式）

◎ 各部の仕様

品番	品　名	型　式	仕　　様	名　　称
1	油圧ポンプ	CP-3NT	最大使用圧力　65MPa 油　量　250ml	
2	圧力計 取付台	T1-8T	Rc3/8×Rc3/8×G1/2	
3	圧力計	AS100- 100M8T	測定表示 黒目盛（圧力） 0～100Mpa 赤目盛（荷重） 0～80kN	
4	高圧ホース	H-1.5	最大使用圧力　70MPa ホース長さ　1.5m	
5	センターホール シリンダー	SR-8	最大出力　80ｋN （6.5MPaの時） 受圧面積　12.41㎠ 最大ストローク 30㎜ センターホール径 φ25	

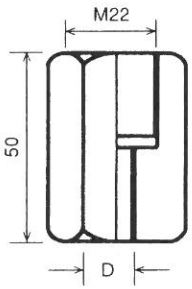
品番	品　名	型　式	仕　　様	名　　称
6	テンション受台	U-8T	200（外）×12（厚） テンション調整ボルト 3本 はめ込み式（ピッチφ170）	
7	テンション調整ボルト×3本	H-8TB	高さ調整範囲　115～175	
8	テンションボルト	M22×330	ネジ径　M22 ネジ長　330 （六角ナット･ワッシャー付）	
9	テンションワッシャー	TW75×10	ロングアンカーボルト M8～M16.W5/16～5/8 D8～D16 直接引抜き時センターホールシリンダー上部のワッシャーに使用します	
10	ボルトテンショナー			

Mネジ

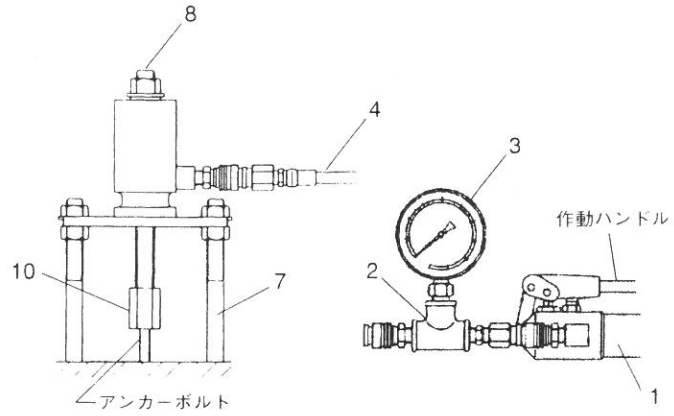
型式	M22×8	M22×10	M22×16	M22×20	M22×20
D	M8	M10	M16	M20	M22

Wネジ

型式	M22×5/16	M22×3/8	M22×1/2	M22×3/4	M22×7/8
D	W5/6	W3/8	W1/2	W3/4	W7/8



◎ 組 立 手 順



品番	品　名
1	油圧ポンプ
2	圧力計取付台
3	圧力計
4	高圧ホース
5	センターホールシリンダー
6	テンション受台
7	テンション調整ボルト
8	テンションボルト
10	ボルトテンショナー

※図－1のように部品を組み付けます

1．油圧ポンプ①と圧力計取付台②のワンタッチカップラーオス、メスを接続します。

2．圧力計取付台②と高圧ホース④およびセンターホールシリンダー⑤のワンタッチカップラーオス、メスを接続します。

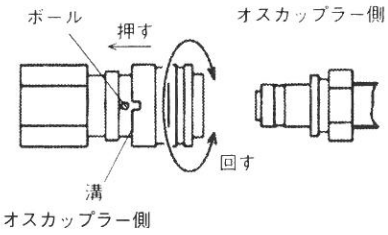
ワンタッチカップラーオス、メスの着脱

1）メスカップラー側の溝とボールの位置を合わせカラーを押し上げます。

2）オスカップラーをメスカップラーにはめ込みます。

3）セット後メスカップラーのカラーを回しボールと溝の位置をズラします。抜け防止のロックにメスカップラー側がなります。

4）外すときは再びメスカップラーの溝とボールの位置を合わせカラーを押し上げてオスカップラーを外します。



お願い！

ワンタッチカップラー着脱時には不順物を良く拭き取ってください。
油圧部の故障の原因になります。

3．テンション受台⑥にテンション調整ボルト⑦３本をはめ込み架台を組立てます。この時、所定のテスト場所にてテンション受台⑥が、コンクリート面と水平になるよう３本のテンション調整ボルト⑦で調整します。
4．テストアンカーボルトのネジに合うボルトテンショナー⑩を選択し、テンションボルト⑧のM22のネジにボルトテンショナーをネジ込みます。
5．テストアンカーボルトにテンションボルト⑧に取り付いたボルトテンショナー⑩を完全にネジ込み固定します。
6．テンションボルト⑧に調整された架台を通して置き、図－1の方向になるようにセンターホールシリンダー⑤をテンションボルト⑧に差し込みシリンダー上部に突き出したテンションボルト⑧にM22用ワッシャーおよび六角ナットで固定し準備を完了します。

⚠ 警 告

- テンションボルトとボルトテンショナーおよびテストアンカーボルトのネジが完全にネジ込まれているか確認してください。不完全なネジ込みですと荷重テスト時ネジ部が破損し、ボルトや本機が飛び出し事故やケガをまねくおそれがあります。
- テンション受台とコンクリート面が水平になるよう３本のテンション調整ボルト⑦で調整してください。
  水平に置かれていないと編荷重が架台およびテンションボルト⑧に発生し、ボルトや本機が破損し事故やケガをまねくおそれがあります。

◎ 使 用 方 法

1．油圧ポンプ①の戻しバルブを時計方向に回し確実に締め付けます。
2．圧力計の置針を“０”の位置に戻します。
3．油圧ポンプ①の作動ハンドルをゆっくり上・下に作動し加圧します。

※作動ハンドルを早く作動して加圧すると圧力計の目盛が正確に読み取れない場合があります。

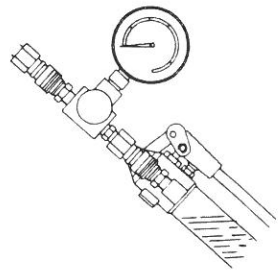
センターホールシリンダー⑤が加圧されテンションボルト⑧が引抜き荷重を受け、その加圧力が圧力計③に表示されます。圧力計の目盛を読みながら油圧ポンプ①の作動ハンドルを作動させ、テストを行ってください。

圧力計は置針により最高値を保持しています。

4．油圧ポンプ①の戻しバルブを開くとセンターホールシリンダー⑤の油圧力が解除され、油が油圧ポンプ①に戻りテストが終了します。
5．テスト終了後は各部品を油布で清掃し、所定のケースに収納してください。

◎ 注 記 事 項

1．圧力計には、急激なショックを与えないでください。故障の原因となります。
2．高圧ホースは非常に傷付きやすい部品です。上から重い物を落したり、部品が取り付いた状態でホースを持って運んだり、また無理に曲げて使用すると、損傷が生じ油が吹き出し事故やケガをまねくおそれがあります。
3．ワンタッチカップラーを接続して使用しない場合は、必ずカップラーキャップ（赤ゴム）をかぶせてください。カップラーからほこりやゴミが混入すると、油圧ポンプやセンターホールシリンダーの作動故障の原因になります。
4．図－２のように油圧ポンプの高圧ホース側を上向きにして操作しないでください。図のような状態で操作すると油圧ポンプの油の吸入が悪くなり、場合によっては、空気を吸い込んで油を吐出せずセンターホールシリンダーが前進しなくなります。
5．油を使用している為、火気の附近や溶接作業を行っている場所では使用しないでください。
6．使用中油温が６０℃を越すと圧力が上がらない場合があります。冷却後、使用してください。



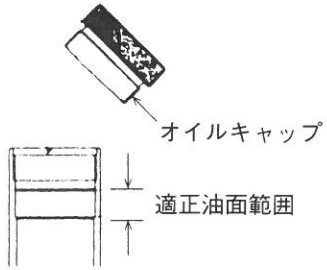
図－２

◎ 油の交換・補充

油は一定期間（12ヶ月）毎に交換することをお奨めします。本機にはその構造に適した専用油をご使用ください。油を交換、補充する場合は次の順序に従ってください。

1．油圧ポンプの戻しバルブを開き、油をポンプに戻します。
2．油圧ポンプを垂直に立てオイルキャップをはずし、油タンクの内側にきざまれたゲージラインの範囲内に油があるかを調べます。

3．油が汚れていたり、少なくなっているときは、専用油をゲージラインまで交換、補充してください。
4．油の交換、補充する場合は異種の油の混入させないでください。化学変化やパッキン類を傷め、故障の原因となります。
5．油はカクタスパワーパックオイルを使用してください。販売店におたずねください。



◎ 油の取扱い（専用オイル）

注意事項

- 目に入ると炎症を起こすことがあります。取扱うときは、保護メガネを使用するなど目に入らないようにしてください。
- 皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取扱うときは、保護手袋を使用するなど皮膚に触れないようにしてください。
- 飲まないでください。（飲み込むと下痢、おうとします。）
- 子供の手の届かない所に置いてください。

応急処置

- 目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、水と石鹸で十分に洗ってください。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。

廃油の処理

- 処理方法は法令で義務づけられています。法令に従い適正に処理してください。

検定検査

常に正しい数値を管理する為にSK-8T型の圧力計は必ず一定期間毎に検定を実施してください。検定は弊社に依頼してください。（有料になります）